

鳳凰山（夜叉神峠から薬師岳・観音岳）

2015年3月30日(月) 快晴

佐々木

新入りの佐々木が初めてレポートします。よろしくお付き合い下さい。

珍しく平日に休みがとれたので、休日には多くの登山者で賑わう人気の鳳凰山も平日ならば貸し切りだろうと山行を計画した。当初は二日間の休みがとれそうだったが、世の中そう甘くはない。結局のところ、日帰りに日程を変更し、残留の方に計画の変更を連絡して総会の終了後に浜松を出発した。

初めての山域は、登山口までの交通状況も気になるところだ。インターネット検索によれば「林道南アルプス線」は夜叉神峠登山口までは通行が可能な様子だった。ヘッドライトに逃げまどう鹿を避けながら無事に夜叉神峠登山口に到着した。好天を期待しつつ車中で仮眠につく。

午前4時半、目覚まし時計より少し早く目覚める。朝食を簡単にすませテルモスにお湯を満たし午前5時にヘッドンで歩き始めた。

10分とたたないうちに暑くて汗ばんできた。薄い上着を脱ぎ温度調節したが、さらに10分後にはフリースも脱いで半袖になってしまった。ちょうどこの頃にご来光を迎えた。いい天気になりそうだ。

夜叉神峠までの登山道は雪が少なくアイゼンは必要なかった。一部は凍結していたが、足場を選べばどうにか通過できた。



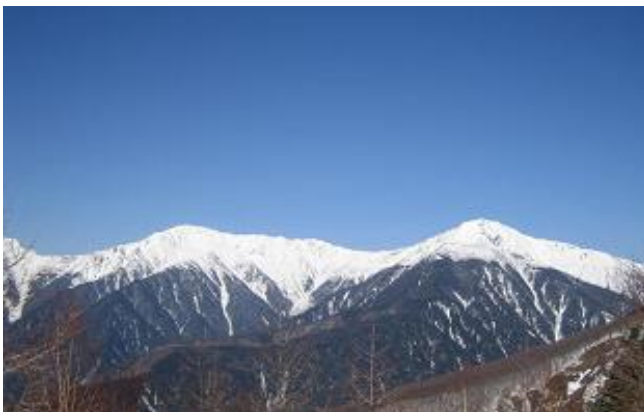
一時間程度で夜叉神峠小屋に到着した。白根三山の稜線は、朝日に照らされ神々しく輝いて見えた。いつまでもこの景色を眺めていたい。と、ついつい休憩が長くなってしまった。



夜叉神小屋を出てしばらくしたら雪が多くなってきた。凍結している箇所もありアイゼンを装着する。そこかしこに踏み抜いた跡がある。慎重に進んで夜叉神小屋から一時間ほどで杖立峠に到着した。あまり変化のない樹林帯をさらに進み、少し林が開けてきたなと思ったら火事場跡に出た。



綺麗な空だと天を見上げ、そのまま視線を左に向けると白根三山がより近くになっていた。



見晴らしのいい区間は僅かで、すぐに樹林帯のトレールに戻った。
次に目指すのは「苺平」だ。可愛い地名の響きに、どんな場所だろうと期待をふくらませていたが、そこには雪に埋もれた道標しかなかった。
本当にここか？と地図で確認したほどだった。



緩やかな下りが続き、奇妙な看板に首をかしげてしばらく、南御室小屋に到着した。誰もいない静かな小屋で南アルプス天然水を汲み喉を潤す。



南御室小屋からの登りは、それまでと一変したものとなった。急な登り、巻き道、踏み跡の消えかけたルートと飽きることなく楽しむことができた。ストックでも問題はなさそうだったけど、せっかくだからピッケルを出した。かなり登ったかなと思っていたら稜線に出た。

感無量！これ以上ない眺望が広がっていた。



目指す薬師岳はすぐそこに見えた。

雪が少なくなり、岩や砂が多くなった。いったんアイゼンを外して進むことにした。幾つかの岩を越えながら吸い込まれるような青空が続く稜線歩きを楽しんでいたら、薬師岳に着いていた。



ここから下山しても十分に満足できると思ったが、まだ時間に余裕もあるので計画どおり観音岳まで進むこととした。

稜線は再び雪に覆われ、東側は大きく切り落ちていた。

ところどころで雪に隠れた這松を踏み抜いてしまう。一カ所、腰までズッポリはまってしまった。



40分ほどで観音岳に到着した。

すぐ正面には地蔵岳のオベリスク、甲斐駒ヶ岳、仙丈ヶ岳・・・飽きることのない眺望だ。富士山からぐるりと見渡せば、南アルプスのオールスター、遠くに北アルプスの嶺々、八ヶ岳、甲府盆地、そして再び富士山、まさに大パノラマだ。





昼食を済ませ、ちょうど山頂に居合わせた方に写真を撮ってもらい下山することとした。この日は、この方を含め4～5名の入山者だったようだ。さすがに鳳凰山を独り占めとはいかなかったが、静かな山行を十分に楽しむことができた。下山途中、南御室小屋で南アルプス天然水を2リットル詰めてお土産とする。

概ね予定どおりの夕刻5時半に登山口へ戻り下山報告する。帰路は南アルプス市の「やまなみの湯」で汗を流した。

富士川沿いの見事な夜桜に春を感じ、満ち足りた気持ちで家路に就いた。



<タイム> [夜叉神峠登山口](#) 05:00～06:00 [夜叉神峠小屋](#) 06:10～07:10 [杖立峠](#) 07:20～08:10 [火事場跡](#) 08:20～09:00 [苺平](#) 09:05～09:30 [南御室小屋](#) 09:40～10:50 [薬師岳](#) 11:00～11:40 [鳳凰山](#) 12:30～14:10 [南御室小屋](#) 14:30～17:30 [夜叉神峠登山口](#) = 「やまなみの湯」 = 浜松 （佐々木 記）